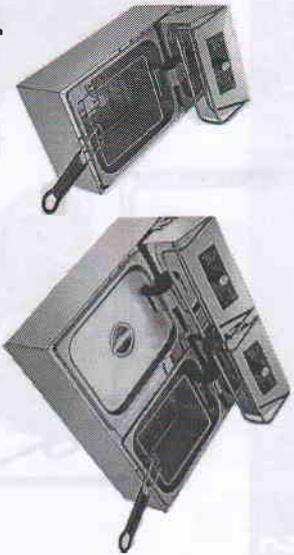


PRO GOKK
Japan



取扱説明書

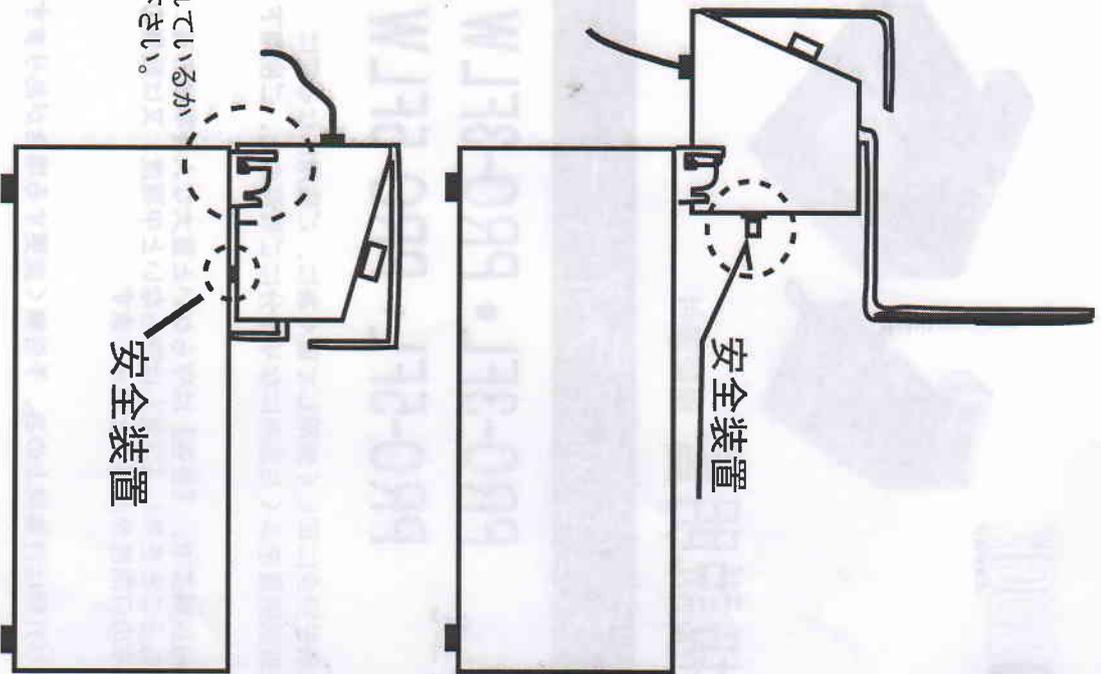
保証書付

電気フライヤー

型式
PRO-3FL・PRO-3FLW
PRO-5FL・PRO-5FLW

- この商品を安全に正しく使用して頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解の上、ご使用下さい
- この取扱説明書で、『警告』は守らないと重大な人身事故の可能性が有ることを示し、『注意』は守らないと中程度、又は軽傷の人身事故の可能性が有ることを示します
- 仕様及び外観は性能向上の為、予告無く変更する場合があります
- この取扱説明書は大切に保存して下さい

安全の為、確認してからお使いください。



はめ込まれているか
確認して下さい。

安全装置

※ご注意※

安全の為、ヒーターユニットがしっかりとはめ込まれていないと電源が入らないように設計されております。

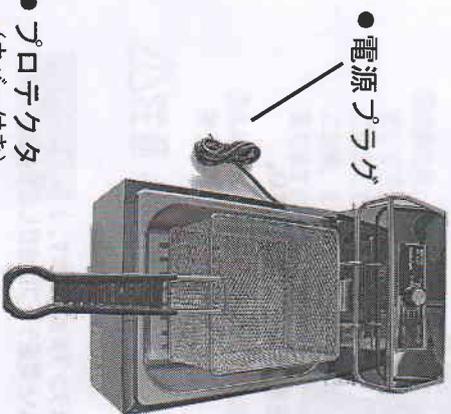
①

使用目的

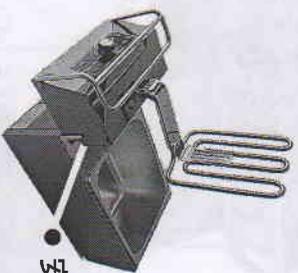
天から揚げなど、食材を揚げる

各部の名前とはたらき

1



●電源プラグ



●安全装置

この状態では加熱されません。
正しくセットしてから使用すること



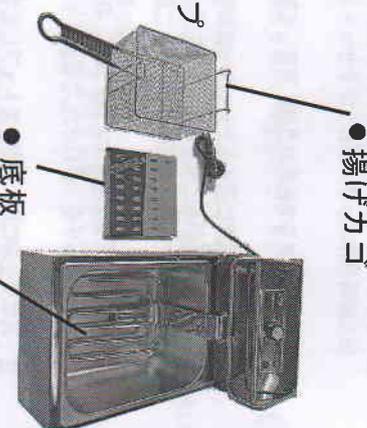
●プロテクタ
(カバー付き)

●温度調節ツマミ

●電源スイッチ

●加熱ランプ

●電源ランプ



●揚げカゴ

●底板

●ヒーター

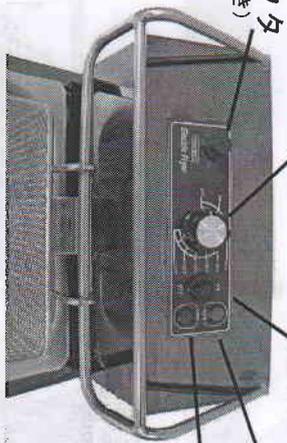
仕様

型式	PRO-3FL	PRO-5FL	PRO-3FLW	PRO-5FLW
電源	100V	100V	100V × 2	100V × 2
消費電力 (W)	1400W	572	1400W × 2	572 × 2
油量	3 $\frac{1}{2}$ L	5 $\frac{1}{2}$ L	3 $\frac{1}{2}$ L × 2	5 $\frac{1}{2}$ L × 2
温度調節 (°C)	60°C~200°C	60°C~200°C	60°C~200°C	60°C~200°C
質量 (kg)	4kg	5kg	8kg	11kg
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ (mm))	195 × 390 × 325	295 × 445 × 330	400 × 390 × 325	610 × 445 × 330

②

● 温度調節ツマミ ● メインスイッチ

- プロテクタ (カバー付き)
- 加熱ランプ
- 電源ランプ



⚠ **注意** フライヤーのご使用中は、絶対にその場を離れて放置しないで下さい。

基本操作

①メインスイッチ及び温度調整ツマミを「off」にして電源プラグを差して下さい。(アース線もつないで下さい。)

②メインスイッチを「on」にしてください。(この時電源ランプが点灯します。)
※この時操作ボタンスがしかりセットされていないと電源ランプは点灯しません。

③温度調整ツマミで任意の温度に設定して下さい。(この時加熱ランプが点灯します。)

④油温が設定温度に達するとヒーターの加熱が中断されます。(この時加熱ランプが消えます。)
また油温が下がると加熱され、この加熱、中断が繰り返されます。
※揚げ物をする際、付属の揚げカゴをご利用下さい。

⑤調理終了後は温度調整ツマミを「off」の位置に戻しメインスイッチを「off」にして電源プラグを抜いて下さい。

注：異常発生時には、通電をストップします。原因を(処置方法を確認して下さい。)
取り除いた後プロテクタのカバーを反時計方向に回しカバーを外してヒーター部分が冷めた後、飛び出したスイッチを押し込んで下さい。(※6ページを参照)

⚠ **警告** オリーオイル、ラード等、発火点の低い油は絶対にご使用にならないで下さい。発火する恐れや機械の故障の原因となります。

⚠ **注意** 長時間調理をしない場合は、電源プラグを抜いて各部の清掃をし、ほこりが入らない状態にして保管して下さい。

⚠ **注意** ヒーターの、空焚きは絶対にしないで下さい。

⚠ **注意** 油が入っていることを確認してから運転して下さい。
油槽に揚げカスがたまりまますと、ヒーターに悪影響を与えるだけでなく、油を傷める原因となりますので、定期的に掃除するようにして下さい。

③

※必ず電源プラグをコンセントから抜いて、製品が冷めてからお手入れして下さい。

油の移し変え方法

①コンセントより電源プラグを抜いて下さい。

②冷めた後、油槽よりヒーターユニットを外して下さい。(底板もありますのでご注意ください。)
この時、ヒーター等についた油が落ちますので充分油きりをして下さい。

③本体から油槽を外し適量な油缶に油を移して下さい。

⚠ **注意** やけどに充分注意して下さい。

洗浄の方法

①本体と油槽は、中性洗剤とぬるま湯をかけるスポンジ等で汚れを落として下さい。

②ヒーターもブラシ等(金属以外のもの)でこすり、汚れを落として下さい。その時、温調用と温度過昇防止用のサーモスタットの感熱部及びキャピラリーを損傷しない様充分注意して下さい。

③本体洗浄後、元に戻す場合は取り外しの逆の順で確実にセットして下さい。
※ヒーターユニットが正しくセットされていないと通電されませんのでご注意ください。

⚠ **注意** 清掃時、操作ボタンス部には絶対に水をかけないで下さい。

⚠ **注意** 水が残っていた場合に、油を入れ加熱しますと油がはねたりしてやけどする場合や、油がふき上がりあふれることがあります。

⚠ **注意** 操作ボタンスに水や油が流れたり、付着した場合は必ず拭き取るようにして下さい。故障の原因となります。

⚠ **注意** アース線は必ずつないで下さい。感電する恐れがあります。

④

安全の為、必ず守ってください

5

警告
 ● 本体に水をかけないこと
 ● 電気部分に水がかかると、漏電や故障の原因になります。濡れた手で電源プラグなど電気部品にふれないでください。

警告
 ● 本機は業務用ですの子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使用しないこと。感電、ケガの原因になります。

警告
 ● 改造は絶対に行わないこと
 ● 改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になり、所定の性能が発揮できず、保証の対象外になります。

警告
 ● 屋外で使用しないこと
 ● 雨水のかかる場所で使用されますと漏電、感電の原因になります。

警告
 ● 使用中は本体に触れないこと
 ● 使用中本体は熱くなっていますのでヤケドする恐れがあります。

警告
 ● 異常時は電源プラグを抜くか、ブレーカーを切って、すぐに最寄の販売店へ連絡してください
 ● 異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

故障の見分け方と処置方法

6

- ご使用中に異常を感じられた時は、次の処置をしていただき、それでもなお異常のある時は事故防止のため電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談下さい。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないで下さい。異常動作してケガをしたり、修理に不備がありますと故障、感電、火災などの原因になります。

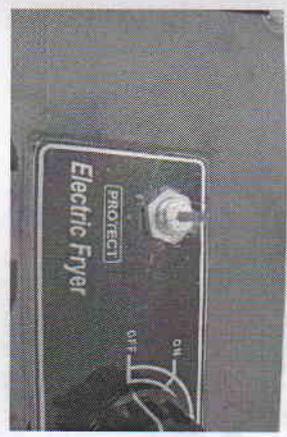
症 状	確認箇所	処 置 方 法
電源が入らない	メインスイッチが「off」になっていませんか？ 電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ヒーターユニットがしっかりと本体にはまっていますか？ ヒーターランプが点灯していますか？ 温度調節がOFF位置になっていませんか？	メインスイッチを「on」にしてください。 しっかりと電源プラグを差し込んで下さい。 ヒーターユニットをしっかりと本体に、はめ直して下さい。 症状「電源が入らない」の項目を確認して下さい。 温度調節を調節して下さい。
熱くならない	揚げカスが密に溜まってませんか？ ヒーター部及び、温度センサーが汚れていますか？	揚げカスを取り除いて下さい。 ヒーター部及び、温度センサーを掃除して下さい。
温度がずれる	異臭がする	使用を中止し、販売店に連絡して下さい。

プロテクタの解除方法

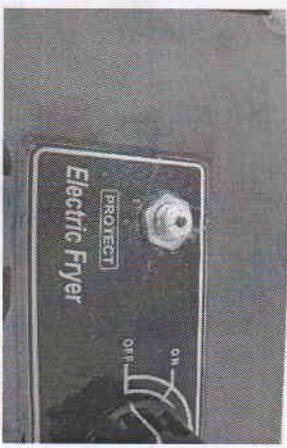
温度の急激な変化などによる異常発生時には、通電をストップします。
 ※水分の多い食材や冷凍食品など投入するとプロテクタが作動する場合があります。

プロテクタ部のカバーを反時計方向に回しカバーを外してヒーター一部が冷めた後、下図①のように飛び出したスイッチを押し込み下図②の状態になったらカバーを逆の手順で取り付け使用して下さい。

※何度もプロテクタが飛び出す事が続くことがあれば故障も考えられますので販売店にご相談下さい。



図① プロテクタが飛び出した状態。



図② 通常のプロテクタの状態。

5

6